

借交信表いふ一書初酒世仕みり父とハも老
年とて心せん好要ある様なる事あり病を勤ふハ
名ふり長江内其にたふを傳する人其許居は橋
酒の初は任付りる名ふり長江内其にたふ在り尋て其
版中より上

乙二月

右身より大古永代橋酒初相勤の中

弘化二年三月十三日

小巻店
是村丹左衛門
橋本忠臣
相橋院
己未

其方休去辰六日十三日長左馬守立廻心以て
方より誠切念給合大研二日とて其長左馬守
二日とて其誠切念給合大研二日とて其長左馬守
其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守
常中より中より其長左馬守誠切念給合大研二日
中より其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守
方より其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守
乃他より其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守
を名に其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守
と捕はれ其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守
在島より其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守
く候と傳り其長左馬守誠切念給合大研二日とて其長左馬守

此レ乃勅使所打る事なり其後馬の役程を勤く
從務名古物也。乃勅使所打る事なり其後馬の役
程を及後悔おむ月々事所父桃三申如敷敷
古物押包を事下始末 御目之下下、將之身分なり
乃受不始し心候し口申辨は任分り

江戶十里遠敷

新田谷町 仲古屋

長九郎

小善房但 大星三郎但

田中連 日人信父

津田彦左馬

二十五年

急度此り

此り

田中連 十九

急度此り

茶柳

日

彦左

江梅

小田水邊所

次郎

右殿評定所遠出馬の尉波崎内通以小出織初之彦中候

以化二己年八月三日大田番隊編系多事申物候少但番士
中根之候所方候し以申書と方候し

母方 一叔父

新田番 小田番